

ミスミグループ本社 2025年3月期第2四半期(中間期) 連結業績

～緩やかな需要回復および独自施策の効果により増収増益
上期売上高過去最高を更新～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2025年3月期 中間連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減率
売上高	180,094	198,022	+10.0%
営業利益	18,515	23,390	+26.3%
純利益	14,185	18,200	+28.3%
1株当たり純利益	50.18円	65.21円	

1. 2025年3月期中間連結会計期間の連結業績ハイライト

- 当中間連結会計期間における世界経済は、製造業を中心とする設備投資需要がグローバルで回復基調ながら想定よりも緩やかなものとなりました。中国、アジアおよび日本を中心に需要が底堅く推移し、主要顧客産業である自動車関連の一部に加え、半導体・電子部品等も回復の兆しが見られました。一方、欧米においては市況の低迷や地政学リスク等の影響が続いており、設備投資への慎重な姿勢が見られ、低調に推移しました。
- こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしています。これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきた IT、生産、物流の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用しながら、新商品・新サービスを含む新事業開発を継続し、顧客の需要を的確に捉えることに努めました。
- この結果、連結売上高は 198,022 百万円、前年同期比 10.0%増(現地通貨ベース 6.1%増)となり、為替効果もあり上期として過去最高を更新しました。利益面につきましては、持続的成長に向けた施策に関わる支出は継続しましたが、売上数量増・商品ミックスおよび為替効果等により、営業利益は 23,390 百万円(前年同期比 26.3%増)、経常利益は 25,221 百万円(前年同期比 26.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は 18,200 百万円(前年同期比 28.3%増)となりました。

2. 緩やかな需要回復および独自施策の効果により全事業セグメント増収

- 2025年3月期中間連結会計期間のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	57,895	66,854	+15.5%	+11.4%
金型部品事業	39,329	42,819	+8.9%	+3.7%
VONA事業	82,868	88,347	+6.6%	+3.7%
合計	180,094	198,022	+10.0%	+6.1%

- FA事業は、中国や日本を中心に需要を着実に獲得しました。
- 金型部品事業は、中国・アジア・日本において自動車関連需要が回復基調にある一方、欧米は引き続き軟調に推移しました。
- VONA事業は、海外全地域において堅調に推移し、前年比増収を確保しました。

3. 海外は中・亜が成長をけん引、国内も増収確保

- 2025年3月期中間連結会計期間の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	83,696	85,831	+2.6%	—
海外	96,397	112,190	+16.4%	+9.3%
中国	29,583	39,462	+33.4%	+24.9%
アジア	27,996	31,929	+14.0%	+8.6%
アメリカ	21,428	22,324	+4.2%	▲3.4%
欧州	12,961	13,713	+5.8%	▲1.8%
その他	4,426	4,760	+7.5%	+2.1%

4. 第2四半期末の配当金は19円83銭、前年比7円23銭増

- 当社グループは、社員の挑戦を起点として、顧客であるIA(インダストリアル・オートメーション)産業の持続的成長へ貢献し、IA産業の自動化、省力化による社会の持続的発展を支える成長連鎖経営を志向しております。この実現に向けて、地域・事業・新商品・新サービス開発等へ積極的な成長投資を行い、顧客時間価値向上に貢献する事業モデルの進化に取り組んでおります。また、中長期的な企業価値向上の実現に向けて、資本コストを的確に把握し、資本コストを超える資本収益性となるよう、エクイティスプレッドの拡大を目指しております。そのため、中長期的な視点での成長投資と株主の皆さまへの還元は、バランスを取りながら実施してまいります。

- 配当につきましては、経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上なども勘案し、2024年3月期の期末配当より配当性向30%を基準としていることから、当第2四半期末の1株当たり配当金を19円83銭(前年比7円23銭増)とさせていただきます。期末配当予想につきましては、2025年3月期連結業績予想の修正により、1株当たり期末配当金を20円59銭(前年比5円72銭増)に修正し、年間配当金は1株当たり40円42銭の見込みとなります。

		年間配当金		
		第2四半期末	期末	合計
前回予想			20円44銭	36円62銭
	配当性向		30.0%	30.0%
今回修正予想			20円59銭	40円42銭
	配当性向		30.0%	30.0%
当期実績		19円83銭		
	配当性向			
前期実績		12円60銭	14円87銭	27円47銭
	配当性向		25.0%	30.0%

5. 2025年3月期連結業績予想を修正

- 当中間連結会計期間において、グローバルで製造業を中心とする設備投資需要等は緩やかな回復傾向が見られ、当社独自施策の効果もあり、売上・利益ともに2024年4月26日公表の業績予想を上回りました。一方で、今後も市況の不透明性は続いており、これまでの進捗や足元の需要動向などを勘案し、通期の連結業績予想につきましては、以下の通り修正いたします。なお、今後事業環境の変化により業績に影響を及ぼす重要な事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

2025年3月期 連結業績予想の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	393,000	46,000	47,400	34,400	122.05
今回予想(B)	401,200	49,100	51,600	37,100	134.67
増減(B-A)	+8,200	+3,100	+4,200	+2,700	
増減率(%)	+2.1%	+6.7%	+8.9%	+7.8%	
前期実績	367,649	38,365	41,265	28,152	99.75

注) 2024年10月1日から2025年3月31日までの期間における平均為替レートについては、米ドル:145.0円、ユーロ:157.0円、人民元:20.0円を前提としております。

[業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている2025年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2025年3月期中間連結会計期間の業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
インベスター・リレーション室
Tel: 03-6777-7501 Fax: 03-5211-7502
mail: cc@misumi.co.jp